

こっこめ通信 12 2009

「風まかせの旅？」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

この時期になると大発生するヤンバルトサカヤスデ。今年は大賀郷の西見～永郷にかけての発生数が多く、夜の道では足の踏み場に困ってしまう程の数が徘徊している場所もあります。さらには、刺激を与えると異臭を発するのいやですね。家の中にまで入り込んでくるこのヤスデたち、どうにかならないものでしょうか？

さて今回は、「アサギマダラの旅」「文化財と巨樹探訪」についてのお話です。

アサギマダラの旅

アサギマダラはマダラチョウ科に属し、大きく翅を広げると 10cm にもなる大型の蝶です。翅を大きくゆっくりと動かし、フワフワと飛んでいる姿が印象的な蝶で、長距離を移動することでも知られています。八丈島でも春の北上・秋の南下の時期に林道などで目にするがありますが、それほど多く見られません。

そして、このアサギマダラは移動調査のため、翅に捕獲場所や日時を記入したのち、再度放つ「マーキング調査」が各地で行われています。今回、島へ調査に来られた“清 邦彦氏”により、「大阪府池田市でマーキングされた 1 頭が八丈島で再捕獲され、さらに八丈島でマーキングした 2 頭が喜界島で再捕獲された」というビックリするニュースが届きましたので、紹介させていただきます。

マーク	性別	捕獲場所	捕獲日時	捕獲者	再捕獲場所	再捕獲日時	再捕獲者	備考（追記マーク）
KM 153 ST	オス	大阪府池田市五月山市民の森	2009.10.10	松本 清	東京都八丈島こん沢林道	2009.10.17	清 邦彦	「SEI 八丈」
SEI - 450	メス	東京都八丈島こん沢林道	2009.10.18	清 邦彦	鹿児島県喜界島百之台公園	2009.11.07	橋本 定雄	「キカイ HAS 2272 11.7」
SEI - 470	オス	東京都八丈島こん沢林道	2009.10.18	清 邦彦	鹿児島県喜界島百之台公園	2009.11.05	橋本 定雄	「キカイ HAS 2008 11.5」



写真左
大阪府池田市で放たれ八丈島で再捕獲された「KM 153 ST」

写真下右左
八丈島で放たれ喜界島で再捕獲された「SEI-450」「SEI-470」



「KM 153 ST」がマーキングされた大阪府池田市五月山から八丈島までは直線距離で約 450km、一番近い陸地からでも 300km は離れているので、その間は海上を飛んできたことになります。また、「SEI-450」「SEI-470」は喜界島までは海上を飛び続けたのか、一度陸地に戻ったかは分かりませんが、もし海上を飛び続けているのなら 1000km 以上を飛んだことになります。大阪からのルートは風の影響で飛ばされてしまった可能性が高いのですが、喜界島まではマーキングした 2 頭が見つかったこともあり、渡りのルートになっているのかもしれない。今まで島に渡ってきたアサギマダラは、さらに渡り続けられないと思い込んでいました。

これを機会にビジターセンターでもマーキング調査を行い、渡りのルートを探ってみたいと思います。

「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

「文化財と巨樹探訪」

11月15日、東京文化財ウィークに合わせた企画事業「文化財と巨樹探訪」を開催しました。

この行事では、八丈島歴史民俗資料館に展示されている東京都指定の文化財6件と八丈町の天然記念物に指定されている3本の巨樹を訪ねまわりました。

途中、薬師様のイチヨウや護神山のスダジイと噴火口、八幡様のムクノキなどにも寄り、約6kmの道程をのんびりと見て歩きました。

あまり馴染みのない文化財ですが、このような行事をきっかけに、地域の貴重な財産であることを知り、改めてその面白さを発見してもらえればと思います。

今回訪ねた以外にも「シンノウヤシ雌雄原木」「優婆夷宝明神社のソテツ」「八丈富士浅間神社のヤマグルマ」「大里のビロウ古株」が町の天然記念物に指定されています。



【楊梅ヶ原（ようめがはら）の大シイ】 昭和58年・八丈町天然記念物に指定

株元で三本に分かれ、それぞれの目通り幹囲約3m、樹高約15m

八丈島の照葉樹林、特に三原山の森を構成する樹木の中で圧倒的に優占しているのがスダジイです。スダジイは木材にしても炭にしても有用な樹木であり、ほとんどが伐採されてしまったため、巨樹と言えるような大木はあまり見られません。

この楊梅ヶ原の大シイは屋敷神のご神木であったことから伐採を免れたのではないかと考えられ、現在では貴重な巨樹です。土壌の浸食もあって空洞が目立ちますが、樹勢は比較的旺盛です。

現地までのアクセスが悪く、手軽に観察し難いのが少し残念ですが、それによりかえてこの木が長年守られているのかもしれない。



【銀木犀下（へいらした）のタブノキ】 昭和58年・八丈町天然記念物に指定

株元で二本に分かれ、それぞれの目通り幹囲約2.7m、樹高約20m

タブノキは全島で見ることができますが、八丈富士側にはスダジイが少ないこともあって八丈富士の森を代表する樹木となっています。

また、黄八丈の樺色の染料として島に無くてはならない木でもあります。

原生林の少ない八丈島ではタブノキに限らず、目につく大木は多くありません。

この木も前述のスダジイと同じように屋敷神のご神木なので、人の手で害されることもなく、巨樹と呼ぶにふさわしい姿を今に残しています。

また大木には珍しく、空洞もなく大変旺盛な樹勢を保っていることでも貴重な存在といえます。



【川向（かわむこう）のオガタマノキ】 昭和58年・八丈町天然記念物に指定

目通り幹囲約1.7m、樹高約15m

オガタマノキはモクレン科には珍しい常緑樹。少し前までは、島の中のオガタマノキは、この一株だけだと思われていましたが、最近では少ないながら他にもあることが判っています。

オガタマノキの名前は「招魂（おぎたま）」が転化したものといわれ、古くから神事に使われていたということです。また、本来の「サカキ」は、オガタマノキだという説もあります。

この木がどのような経緯でこの場所に生えているのか、神木として植えられたものか、種が島に運ばれて自然に生えたものか、今となっては知る事ができません。

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は 11 月 8 日 (13 時 30 分～ 15 時) に行いました。

八丈植物公園季節調査 (平成 21 年第 11 回) 参加者: 菊池昭、茂手木、沖山、VC 菊池

NO. 和名 (島名)	状態	NO. 和名 (島名)	状態	NO. 和名 (島名)	状態
草本		34 セイヨウタンポポ	花と実	11 ヒサカキ	実と蕾
1 アオツツラフジ	熟した実	35 センニンソウ	実	12 ヒメユズリハ	熟した実
2 アオノクマタケラン	熟した実	36 タケダグサ	花と実	13 ホルトノキ	実が残る
3 アキノエノコログサ	実	37 タチスズメノヒエ	実	14 モチノキ	熟した実
4 アキノノゲシ	花	38 チカラシバ	実	15 ヤツデ	花と実
5 アシタバ	実	39 チチコグサモドキ	実	16 ヤブニッケイ	熟した実
6 アシボソ	実	40 チヂミザサ	花と実	シダ植物	
7 イガガヤツリ	実	41 ツルソバ	花と実	1 オオタニワタリ	
8 イヌタデ	実	42 ツルマオ	実	2 オノヤブソテツ	
9 イヌホオズキ	花と実	43 ツワブキ	花、盛り	3 カニクサ	
10 イノコヅチ	実	44 ナキリスゲ	実	4 スギナ	
11 イワニガナ	花	45 ネズミノオ	実	5 タチクラマゴケ	
12 ウスベニニガナ	花	46 ノボロギク	花	6 タチシノブ	
13 ウリクサ	花と実	47 ハキダメギク	花	7 タマシダ	
14 エダウチチヂミザサ	花と実	48 ハチジョウアザミ	花と実	8 ナチシゲシダ	
15 オオアレチノギク	花と実	49 ハハコグサ	花、狂い咲き?	9 ノキシノブ	
16 オオバコ	実	50 ヒナギキョウ	花と実	10 ハチジョウカナワラビ	
17 オニタビラコ	花と実	51 ヒメクグ	実	11 ハチジョウシダ	
18 カタバミ	花と実	52 フウトウカズラ	実、未熟	12 ヒトツバ	
19 カラムシ	実	53 ベニバナバロギク	花と実	13 ホシダ	
20 キツネノマゴ	花と実	54 メヒシバ	実	14 ホラシノブ	
21 キンエノコロ	実	55 ヤクシソウ	花、盛り	15 マツバラン	
22 コシロノセンダングサ	花と実	木本		16 マメヅタ	
23 コセンダングサ	花と実	1 イヌビワ	実	17 ミゾシダ	
24 コナスビ	花	2 エノキ	実が残る	18 ヤマイタチシダ	
25 コニシキソウ	花と実	3 オオバヤシャブシ	実	19 ワラビ	
26 コブナグサ	実	4 オオムラサキシキブ	熟した実	今回はシダ植物 19 種を含む 90 種の植物を観察しました。黄色い花や樹木の実が目立つようになり、いよいよ秋も深まってきたようです。	
27 コミカンソウ	実	5 ガクアジサイ	実		
28 ササガヤ	実	6 シチトウタラノキ	熟した実		
29 シチトウスミレ	実	7 シマクサギ	熟した実		
30 シバ	花	8 センダン	実、落ち始める		
31 ススキ sp.	実	9 タイミンタチバナ	実		
32 スズメノカタビラ	実	10 トベラ	実		
33 セイタカアワダチソウ	花と実				

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、この時期赤い実がついている「ヤブコウジ」にスポットを当ててみたいと思います。



ヤブコウジ

Ardisia japonica

ヤブコウジ科の常緑低木。三原山や八丈富士で普通に見られます。高さが 20cm 程、6 月頃から下向きの白い花を数個つけます。秋に赤く熟しますが、葉で隠れてあまり目立ちません。センリョウ (千両)、マンリョウ (万両) に対してこのヤブコウジは十両とも言われています。

2009 12

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
		1 ○	2	3	4	5 ガイドウォーク
		04:54 10:08 15:29 22:27	05:39 10:49 16:05 23:08	06:23 11:29 16:44 23:50	07:08 12:09 17:26	07:52 00:35 18:11 12:52
6 ガイドウォーク	大雪 7	8	9 ●	10	11	12 ガイドウォーク
08:36 01:20 19:01 13:40	09:19 02:08 19:58 14:37	10:02 02:56 21:10 15:49	10:46 03:48 22:52 17:15	11:32 04:46 18:39	00:57 05:56 12:21 19:45	02:39 07:15 13:10 20:35
13 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会	14	15	16 ●	17	18	19 ガイドウォーク
03:49 08:30 13:58 21:18	04:38 09:28 14:43 21:56	05:18 10:15 15:24 22:32	05:52 10:53 16:02 23:07	06:24 11:28 16:39 23:41	06:54 12:00 17:14	07:23 00:14 17:49 12:31
20 ガイドウォーク 冬の特別行事 「リースを作ろう」	21	冬至 22	23 ガイドウォーク	24	25 ●	26 ガイドウォーク 八丈学講座 「冬虫夏草の不思議」
07:50 00:47 18:25 13:04	08:18 01:19 19:02 13:41	08:46 01:51 19:44 14:24	09:17 02:23 20:34 15:16	09:51 02:58 21:45 16:22	10:30 03:38 23:33 17:37	11:17 04:31 18:50
27 ガイドウォーク	28	29 ガイドウォーク	30 ガイドウォーク	31 ガイドウォーク		
01:44 05:52 12:13 19:51	03:16 07:36 13:13 20:43	04:15 09:00 14:11 21:31	05:01 09:59 15:03 22:17	05:41 10:46 15:56 23:02		この色の日は 特別行事があります

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化と一緒に感じましょう！
12/13（13:30～ 約1時間半） 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

特別行事 「リースを作ろう」

毎年恒例、クリスマスやお正月に合わせていろいろなリースを作りましょう！
12/20（13:30～ 約1時間半） 小学生以上（低学年は保護者同伴）
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

八丈学講座 「冬虫夏草の不思議」

毎月行っている八丈学講座。今月は昆虫にとりつく菌の冬虫夏草のお話です。
12/26（13:30～ 約1時間半） 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

年末年始特別行事 「体験八丈太鼓」

ビジターセンターの年末年始といえばこれ！ 太鼓たたけばストレスも吹き飛びますよ！
12/29～1/3 ビジターセンターの開館中（9:00～16:45）
いつでも・だれでも・無料

て～こ、はたきにおじゃれ！

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2009.12.1 第103号

開館時間 9:00～16:45 年中無休（入場無料）

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

今回、清さんは八丈島でアサギマダラは47頭（♂：21、♀：26）にマーキングをされたそうです。そのうちの2頭が喜界島で見つかりましたが、他の45頭はいったいどこへ行ったのでしょうか？ 来年以降の調査で“渡りの道”が見つかると思います。（高）